

第1回中井町総合計画審議会議事録

日時	2015年8月7日(金) 10:00~12:00
出席者	資料2参照 欠席:金子貴司氏、
議題	<p>1 開会 / 2 町長あいさつ / 3 委員の委嘱 /</p> <p>4 会長の互選及び職務代理者の選定</p> <p>5 協議事項</p> <p>1) 第六次中井町総合計画策定方針について</p> <p>2) 第六次中井町総合計画策定に関する検討体制及びスケジュールについて</p> <p>3) 中井町の現状及び将来見込について</p> <p>4) 町民アンケート結果(速報版)について</p> <p>5) 町民参加(協働)による総合計画策定について</p> <p>6 その他</p>
議事	<p>1 開会</p> <p>○権守企画課長より開会のことば</p> <p>2 町長あいさつ</p> <p>○杉山町長より挨拶</p> <p>3 委員の委嘱</p> <p>○テーブル配布各自確認、自己紹介</p> <p>4 会長の互選及び職務代理者の選定</p> <p>○会長: 諸坂佐利教授、 職務代理者: 加藤幸一郎副町長</p> <p>5 議題</p> <p>1) 第六次中井町総合計画策定方針について</p> <p>・(資料3)について事務局天野氏より資料説明</p> <p>2) 第六次中井町総合計画策定に関する検討体制及びスケジュールについて</p> <p>・(資料5)について事務局天野氏より概要説明、それに伴い町の方針として(資料4)にて中井町の体制と今後のスケジュールについて説明</p>
重田委員	<p>【議題1)、2)について各委員から質問】 ●座長、○委員、◎事務局</p> <p>○1. 前回までの審議会には審議会メンバーに議員さんがいましたが、今回はいないのはなぜか</p> <p>2. 行政の中の検討委員会はどうなっているのか</p> <p>3. 地区懇談会には課長クラス以上に出席して欲しいがどう考えているか</p>
事務局	<p>◎審議会委員から議員が外れるということについて3月議会で条例が改正されました。理由は審議会は町長の諮問を受けて答申を出す機関であり、議会は議決することを主とする機関であることから、議員については審議会からは外れ、その代りに町民からの意見を幅広く聴くために町民からの参加を増やしたということです。</p> <p>また検討会をどのようにというお話ですが、庁内にある幹事会、課長会で組織している策定委員会というものをこれまでに何度か調整をしています。また、まちづくりカフェと言う形で町民意見を聴く会として7月25日に実施をし、戦略みらい会議についても7月29日に実施して、総合戦略について審議会前に検討を行っているという形になっています。</p> <p>地区懇談会の形についてですが、今年度どのような形で実施していくか、ということも現在検討している段階です。今回総合計画、総合戦略を本格的に実施していくために、会場の数や町民意見を集約するのか、ということも至急事務局で検討をしていきたいと思っています。全ての課長が全ての会場にと言う形では出来ていませんが、課長以上が直接町民の意見を聴くことは良いことだと考えていますので検討していきたいと思っています。</p>

雑色委員	<p>○1. 5次計画と6次計画の半年のブランクはどうなるのか</p> <p>2. 基本構想の議会提案について、平成28年9月に基本構想を提出するとあるが、今のスケジュールを聞くと3月議会でということになっていると思うが、どうなのか。</p> <p>3. 議会の議決は必ずしも必要でないと言うが、議会の関与はどのようになっているのか。</p> <p>4. 財政収支見通しはどのようになっているのか。</p>
事務局	<p>◎半年間のブランクについては、基本構想を3月の議会議決、基本計画については28年の9月の予定になっています。出来ればそこまでにまとめたいのですが、あくまでも基本構想の議決を3月に頂いて、実施計画と基本構想で進めていくという考え方でいます。</p> <p>議会との関係については、基本構想については議会での議決を得るということは議会基本条例で規定されていますので、町の方としては議決が必要になります。3月には議会の理解を得て基本構想を議決して頂けるように進めていきます。財政収支見通しについては、3年間のローリングは毎年行っております、それだけでは足りないという部分で10年間ということですが、なかなか難しい財政見通しとなるかと思えます。今の状況で行けば住民税も一部国税化ということもあり、財源が減っていくことは目に見えている一方、しかし町を持続させるためにここで何をしていくかという部分については検討していかなければならないと考えます。財政見通しもしながら出来る範囲のものを計画として挙げていく方向で検討したいと思っております。</p>
雑色委員	<p>○実施計画があるからと言うのは、前の時の実施計画ですか、新しい実施計画ですか。</p>
事務局	<p>◎ここで実施計画のヒアリングをさせて頂いています、その中で第6次の総合計画に出来る実施計画を今各課とヒアリングをしながら検討している最中でございますので、それを28年度から進めて良ければ、基本計画の代わりになると考えています。</p>
雑色委員	<p>○議会の議決というのは議会基本条例から来ているということですか。</p>
事務局	<p>◎地方自治法で議会議決が廃止となったのは、地方分権の観点からです。国がそこまで義務付けするのは廃止します。あとは市町村がそれぞれ判断して下さい。地方自治法の「義務付け枠付け廃止」という地方自治法改正があり、総合計画の策定は自治事務であるので、自治体の議会で判断して下さいということになったということです。</p>
雑色委員	<p>○分かりました。</p>
会長	<p>●極端な話をすれば、作らなくても良いのです。確かそういう自治体もあります。それも一つの自治体の判断と言うことになります。行政としてのあるべきかということについては、また少し別の話になるかと思えます。これだけタイトなスケジュールですので、タイトであるが故に集中して議論することが出来ればと思います。質問については全て事務局の回答でよろしいでしょうか。</p>
雑色委員	<p>○結構ですが、財政収支についてはラフで結構ですが、現実を踏まえた長期計画、全体像を作っていないのではないかと思います。</p>
副会長	<p>○見通しは当然ながら出来る限りしていく事は大切だと思っています。</p>
岸委員	<p>○構想の中で5次までの経過を踏まえた上で、これからの6次ことを考えて計画をしているのでしょうか。</p>
事務局	<p>◎今までは右肩上がりでの計画を描きがちでしたが、これからは時代の変化もあり行政に求められるものも変わってくるということを考え、計画策定そのものも住民と協働、自治基本条例の理念なども尊重しながら作って行くべきではという視点を持って作って行きたいと思い定めています。また、5次からの継続性ということについては、(資料11)にあります「第5次後期基本計画進捗状況」の中でお手元の総合計画の冊子の事業の各種進捗を取りまとめております。23, 24, 25年度までのものを評価しております、5次で完結するもの、6次に継続するもの、6次に盛り込んだ方がよいものなど、5次をしっかり評価しながら、今後検討していきたいと思っております。26年度の評価については今現在行っている状況です。</p>

岸委員	○今まで計画をどんどんあげていても、途中で終わって新しいものやっても何もなりませんから、もちろん状況によって変えなければならないものもあると思いますが、その辺をきちんと吟味しながらして欲しいと思います。出来ないものをずっとあげるのは極めて良くないことです。
会長	●そうですね。出来ることは出来る、出来ないものは出来ないという仕分けが必要ですね。
咲間委員	○審議会は今年間で4回となっていますが、タイトなスケジュールで間に合わないということになってしまっは危険だと思うので、臨時の審議会や勉強会などが開催があり得るのではと感じましたが、以前にもそうした開催はあったのでしょうか。
事務局	◎総合計画審議会の招集は会長が必要に応じて、審議事項が発生した段階で皆さんにお諮りするのが審議会の主旨です。臨時会と言うよりは、その都度必要に応じて開催をしていくという形です。今お示ししているのは他の町民意見の会議のスケジュールなどを踏まえて、今後そのタイミングで皆さんにお諮りすることは出てくる計画をお示ししております。その間にもし必要なことが生じてきた場合は、臨時ではなく第2回が早まったという解釈になります。なので今までは臨時と言う形での開催は無いと思います。
会長	●(資料4)の図を見ながら、それぞれの委員会の位置づけやどこが素案を作り、委員会がどういう機能しなければならないかなどをフォローして頂けたらと思います。
事務局	◎(資料4)の真ん中の縦の部分で、一番上の四角には「総合計画策定委員会」、「総合戦略推進委員会」がありますが、策定委員会については26年度から設置されていましたが、ここで総合戦略についても定めていくということで、課長級で構成します総合策定委員会に新たに総合戦略の推進についても検討していく機能を持たせて、同様の名称で2つを平衡して審議をしていくということです。ここは町の行政検討組織の一番上部機関になりますが、実務的な調整と細かな審議はその下の班長クラスで構成する、「総合計画策定幹事会」、「総合戦略推進幹事会」ここが実質的な協議を中心に行っていくということをございます。従来はこの2本立てだったのですが、職員全員でこの総合計画、総合戦略を自分たちの課題だと認識していくために、若手によるアイデア会議を設置し、役場に入ってまだ間もない人からの方が斬新なアイデアを拾える場も作っています。またこの3つの組織に属さない人もおりますが、それは職員研修での共通認識をはかったり、職員提案、アンケートなどを実施して職員全体で作りに上げていくということをお示したのが、真ん中の行政組織の検討機関となります。 実質的には、総合計画策定案、骨子案など幹事会を中心に議論を進め、上部組織である策定委員会、推進委員会に諮った上で、町としての方針等を決定し、その決定した内容を「町民等」諮問機関、総合計画審議会の方にお諮りして進めて行くという流れになるということです。 町民参画については、今までは行政主導で町民意見はアンケートなどから反映するということがしていましたが、今後は自治基本条例にも策定された中で「町民も一緒」という形が求められてきていますので、その一つのステージとしてまちづくりカフェを設置させて頂いています。色々な方にご参画頂いているところです。戦略みらい会議については、「まち・ひと・しごと創生」に基づいて設置を求められている機関でございまして、今回初めて組織させて頂きました。総合戦略につきましては、町の素案をかけて最終的な決定をさせて頂くということを考えています。
会長	●ざっくばらんにこういう勉強会をやりましょうとか、ご意見ご提案などございましたら、私もスケジュールが可能な限り参加しますので、色々なご意見を頂けたらと思います。
芦田委員	○資料の提示をもう少し早くしてほしいです。
事務局	◎今後は最低でも1週間程度前にはお送りして、目を通して頂けるようにしたいと思います。
芦田委員	○次回日程についてはいつごろ決まるのでしょうか
事務局	◎次回日程については、この回が終わった際に決めたいと思います。
会長	●この総合計画の策定方針、検討体制については町の方である程度の骨格を作っておいて下さっています

	<p>ので、スケジュールもラフなものが出来ておりますので、それを基本ラインとしてこれから進めていきたいと思います。事務局からの説明にもありましたが、この町に限らず人口減少は大きな問題ですし、地方創生も大きな柱ですから、この2つの計画を協働と言う概念で推し進めていくことが出来ればと思います。この審議会では調査、審議ということが眼目にありますので、皆さんの自由なご意見を頂けたらと思いますので、よろしくお願いします。</p> <p>では、次の議題に入ります。</p>
事務局	<p>3) 中井町の現状及び将来見込について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(資料6) 中井町まちづくり白書について事務局天野氏より概要説明 ・まちづくりカフェ、戦略みらい会議でも配布していることを周知
事務局	<p>4) 町民アンケート結果(速報版)について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人口推計の概要と町民アンケートの概要(回収率、転入転出、企業へのアンケートを中心に)を事務局野口より解説 ・小中学生へのアンケートについては現在集計中、次回審議会までには集計結果をまとめられることを周知
岸委員 事務局 岸委員 平井委員 事務局 平井委員 会長 事務局 雑色委員 芦田委員 城所委員	<p>【議題3)、4)について各委員から質問】 ●座長、○委員、◎事務局</p> <p>○感想の前に白書のP.10の図は右上は「高い・高い」となるとは思いますが。</p> <p>◎ご指摘ありがとうございます。</p> <p>○白書の中で6次の策定にあたった課題があると感じました。それをどうするかということに特化して議論すればよいのではないかという印象を受けました。</p> <p>○企業アンケートの中で、今後機会があれば中井町に住みたいと思いますかというアンケートはグリーンテク中井の企業とは限らずのものでしょうか</p> <p>◎そうです。町の中の企業さんにアンケートをとったということです。</p> <p>○以前、グリーンテク中井の企業を対象として従業員の方にアンケートをとったことがありますが、その時の結果は勤めは仕方ないが中井町へは住みたくない。と言う意見が殆どでショックを受けたのですが、ずいぶん変わっていたので驚きました。条件さえ合えば住んでも良いという、その条件はどのような条件なのかというのがすごくポイントだと思いました。</p> <p>●条件さえ合えばというのは、私も思いました。どんな条件が合えば来てくれるのか中井町特有の条件と一般的な転入したい人達の条件と、その辺今までのデータベースなどを研究所としてお持ちであれば中井町の特徴などと次回にでもお願いします。</p> <p>◎このアンケート調査ではフリーアンサーがありまして、今そちらは整理中ですので纏まりましたら資料として提出したいと思っています。</p> <p>○資料7の人口ビジョンについて、今も行っているが施策をしたところで効果があるのか、転出をどうしたら止められるのか、中井町に何があれば住みたいのかと言うことを感じました。</p> <p>○一番思ったのは通勤が大変だということです。駅を作るのは無理ですから、バス路線等の交通網のアクセス整備が一番重要だと思います。中井町の場合、交通アクセス調査というのは今まで出来ていないのではないかと思いますので、どの時間帯にどこに行きたいのかなどという調査をしてみれば、色々なことが考えられると思います。神奈中も行政も出来ていないと思いますので、アンケート調査をして注目すべきところは先の調査もしていくように出来ればと思います。</p> <p>○アンケート調査の回収率は、41%で高いということに驚きました。中井町白書を見て感じたことは、町の名前に対して近隣の町についてはその地域の自然環境や特徴を反映した非常に端的な言葉が浮かんでくるのですが、中井町と言われるとなかなかイメージがないので、そういうイメージを作って行けるような勉強会などをしていけたらと思いました。そういう機会を作りたいと思います。</p>

小松委員	<p>○定住出来ないことについては、通学、通勤の交通の問題が一番大きいと思います。企業がまちづくりにいかに協力するかということがありましたが、外国人の方がたくさんいらっしゃいますが、ゴミ問題で摩擦が起きていますので、そういう細かい問題を企業と調整することができればと思います。もっと海外から来て下さって方も住みやすくなると思いますし、来て下さる方をもっと歓迎する雰囲気を作って行ければと思います。</p>
廣澤委員	<p>○データから小田原市との関係を見直してみても感じました。また交通ニーズの見直し、オンデマンドバスの活用を見直すなど、公共交通の問題をどういう風にすれば改善できるのかを話し合えば良いのではと思いました。</p>
小宮委員	<p>○私はグリーンテクに勤めていて、井ノ口小学校の近くに住んでいます。実際中井町に住んで、グリーンテクに公共機関を使って通うことは出来ません。アンケートでは52%の人が中井町に住んでみたいとありましたが、一方で「中井町で探したことがありますか」という所では9%ですから、これが現実だと思います。なぜ探さないのかというと、一つはグリーンテクに通う人は会社のバスで通います。駅から会社まで点と点で結んでいるだけで中井町に来ているという印象は全くないです。こうした人にいかに中井町を歩いてもらうかということが1つのテーマだと思います。また、中井町を歩いていて分譲の看板など見るのが殆どありません。どこで住む場所を見れるのかと言うのが全然ないというのも一つ問題なのではないかと思います。</p> <p>企業はたくさん来ていますが、残念ながら従業員にとっては中井町は一つの通過点でしかないというのが現実だと思います。中井町を歩いてもらうためには、商業施設などがあれば特にグリーンテクの近くにあると良いのではないかと思います。</p>
咲間委員	<p>○まちづくり白書の P.10 のところですが、殆どのところが重要でほぼ全てに「にぎわいと活力のあるまち」というのが入ってきてしまっていることに問題があり、それには人口増加が必要だと思います。私自身、中井町は良いまちだと思って転入してきて今もそう思っていますが、実際住んでみると日々の生活で日用品を買う場所があまりないことや、公共交通が少ないので自家用車が必要なことは否めません。アンケートにも公共交通の充実、不足というのが多く出ていたと思いますが、もし私たちが何十年後に車に乗れなくなったらここにいけないのではないかとこの危機感はいつも持っています。公共交通が身近にある生活でありたいけれど、それがなっていないという現実には常に感じます。それをクリアすることと、子育て世代の人は出るのも大変なので、徒歩圏で全て日用品を買物できる場所が一番望ましいと思いますが、そういう所は中井町には今ないので残念なところです。グリーンテクや企業で働く人たちも仕事帰りに気軽に立ち寄れる場所がなく、空いているのはコンビニくらいですし、食事が出来る場所も数えるくらいしかありませんから、秦野駅や二宮駅の近くに行ってしまうのではないかと思います。</p>
重田委員	<p>○人口推移について、神奈川県内の各都市の現在までの人口推計が欲しいです。他のところではどうなっているのかを比較して、何を打ち出せるかを考えられるのではないかと思います。また行政サービスも周辺行政と何が違うのか、ということデータを整理して比較した方が広域連携も検討しやすいのではないかと思います。また、交通アクセスの問題で、デマンドバスは駅まで行きませんから、デマンドバスのあり方を検討した方が良いと思います。中井町の特徴として農業後継者不足があります。他自治体で行っている色々な施策を検討することも出来るのではないかと思います。</p>
熊谷委員	<p>○企業とのまちの繋がりということで、以前もグリーンテクの中に「企業連絡協議会」というものがあり入っていたのですが、これは昨年度「中井の環境を良くする会」に吸収合併するようになりまし。企業連絡協議会だけでやっていた総会も良くする会で引き継ぎ、意見交換や町からの連絡も担っています。私どもの拠点は50名程度ですが、95%位の方はほぼ自家用車で通っています。3~4人くらいの方が電車で二宮からバスで通っていますが、帰りの時間には苦勞してい</p>

<p>副会長</p> <p>会長</p>	<p>ると聞きます。残業などで時間がコントロールできない時は、同僚に頼んで送ってもらうということなどしていると聞きます。私は秦野の自宅から会社に来るだけになってしまっていて、寄り道する場所が中井町にはないと感じます。寄り道しようとするると秦野周辺になってしまいます。そういう所を中井町でやって行けばいいのではと思います。会社で暑気払いなどをしますが、皆車で通っているのが盛り上がり欠けてしまう所もありますし、離れた拠点から人を呼ぶのもなかなかし難いところがありますので、町の施設で週末使えるようなキャンプ場など気軽に利用できるようなところがあれば、安心して集まれると思いました。あと交通の便や買い物の点については、皆さんが仰っていたことと同じように感じています。</p> <p>○まさしく今町がこれから取り組まなければならない、考えて行かなければならないところが、たくさんあったと思います。人口減少社会は目に見えて国として分かっていることですが、その中でいかにそれを幅を狭めて取り組むことが出来るかだと思います。先ほどのアンケートの結果を1つの参考として分析し、政策の中に取り入れることが出来れば魅力の発信にもつながると思います。</p> <p>●ありがとうございます。転入か転出かということで、私自身感じたことは今ここに住んでいる人々を大切にすることが何より重要だと思いました。今住んでいる人々をこの町は住みやすいという気持ちにまずしてもらうことです。行政が企業誘致する人は簡単ですが、この町は住みやすいと思ってもらえれば転出率は確実に減っていくと思います、思ってもらえればそうした声は今はずぐに外に広まりますし、町の名前も外の人間に伝わって知ってもらえますし、ここが面白くなって来れば外から人を呼び込む吸引力にもなると感じました。また、「協働」ということがキーワードとしてありますが、多角的な視点に立った協働を目指して実現していくことが出来ればと思います。出来ることとできないことがありますので、出来ないことを議論していても出来ませんから、まずは出来ることを確実に着実に実現していく事が重要だと思います。また公共政策論の観点からしますと、協働といった時にまちの政策コンセプトに対してご協力ご理解をお願いしますではなく、今町が抱えている課題に対して共有する共通認識を持つ、一緒に汗をかこうというスタンスで町民の方々と話し合い、出来ること出来ないこと、出来ることは何だろうかと現実具体性のある、かつ持続可能性のある政策案を皆で議論して作れたらいいのかという形を考えています。夢物語を描くのではなく、住民の方々も出来ること出来ないことの認識を町の人間と同じく意識を持って、議論に参加できるようなまちカフェなどもどんどん発展させて良ければ良いのではと思いました。貴重なご意見本当にありがとうございました。</p>
	<p>5) 町民参加（協働）による総合計画策定について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・（資料9）まちづくりカフェの報告、次回9月5日の日程、今後の進め方について周知 ・中井町みらい会議設置要項について、7月29日のみらい会議の報告
	<p>6 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・（資料11）（別冊資料10）について、5次の取組みなどの周知 ・次回第2回開催日：10月14日（水）15:00～17:00、別途通知 ・勉強会については9月中旬頃、希望者のみで開催予定